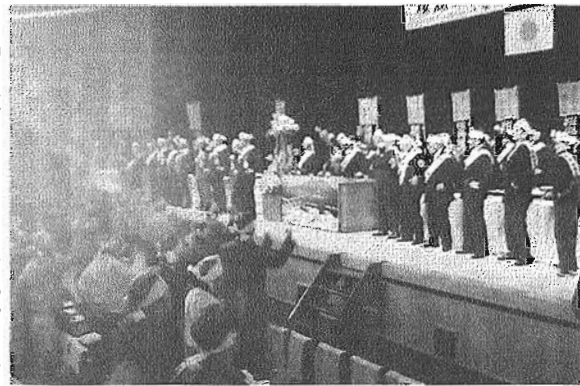


桜島架橋推進協議会総決起大会

官民一体の整備誓う

桜島架橋実現に取り組む「桜島架橋推進協議会」(田中俊實会長)の総決起大会が2日、鹿屋市の文化会館で開かれ、会員や大隅地区の行政、議会関係者、各種団体代表ら約1200人が参加し、官民一体となり架橋整備を強力に推進するなどの3項目を決議した。今後、鹿屋市を湾岸を中心とした署名活動を展開する。冒頭、田中会長が「皆さまの協力により、560万円の浄財が集まり感謝します。鹿屋市は一つ、桜島架橋は大隅住民の長年の悲願であり、薩摩・大隅半島の心の架け橋として実現に向け、さらなる協力をお願いする」と挨拶。海洋架橋・架橋調査会が約8カ月をかけて調査した3ルートの中で、鹿屋市市街地から祇園の州までの約2600mが最適とする基礎調査報告書を田中会長に手渡し、淵田正信技術部長らが大型スクリーンで説明した。



「がんばる三唱」で氣勢を上げる参加者。鹿屋市の文化会館で



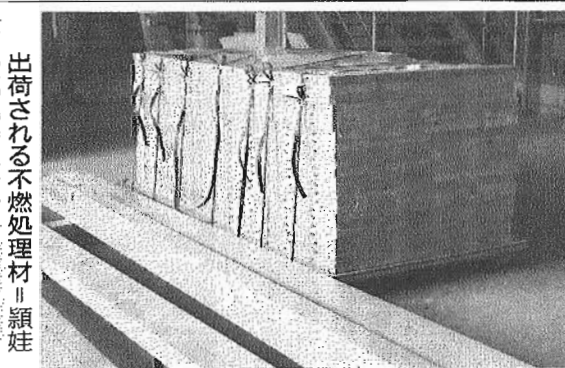
新商品・工法は本館に必ず掲載。新商品・工法は本館に必ず掲載。

話題の商品・工法

注目集める不燃処理材

県不燃木協会

鹿児島県不燃木協会(宮崎美弘会長)は、黒川紀章設計・(株)竹中工務店施工の長崎文化歴史博物館(仮称)の長崎奉行所復元工事で使用される木材の不燃処理を行い、3月30日、ファイヤーレターデント防燃水認定鹿児島工場(須賀町御領)から出荷した。



一部に私どもの技術が採用されました。完成後はぜひ見学したい」と話していた。同協会の不燃木材の受注は4月に3物件、5月に4物件と予定が入っており、新年度早々受注も順調だ。また、同協会では不燃木材をはじめ準不燃木材、防護処理木材の加工販売、難燃処理、木材乾燥、モルタル加工、白あり忌避処理、無公害のほか、コンクリート表面強化処理等も手掛けるなど、二つの構造世界で活躍

湧水支店移転新築オープン

地域密着し社業拡大を

手で採択した。同協議会は昨年7月、鹿屋経済同友クラブ(田中俊實会長)、友クラブ(田中俊實会長)、垂水経済同友クラブ(川

初めに神事が行われ、小谷輝道(株)ヤンマー農機九州管理部長らが次々と玉を捧げた。会場を移して行われた祝賀会では、小谷部長が「新社屋の完成を機に、農とのかわりを大切に、地域農業に貢献したい」と決意を述べた。感謝状贈呈の後、来賓を代表して亀沢実青湧水町農業委員長が「農業経営、規模拡大への貢献に感謝する」と祝辞を寄せた。続いて溝口悦郎支店長が営業を担当する6人を紹介し、佐別当政博湧水町農政課長の発声で祝宴となった。新社屋はS造

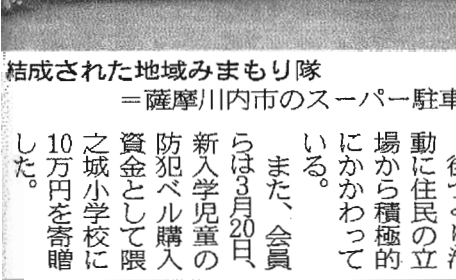


新たな気持ちで社業に専念したい」と挨拶する小谷管理部長。湧水町の現地で

地域みまもり隊を結成

新人学児童に防犯ベル寄贈も

薩摩川内市の限之城愛好会(福重安治会長)は3日、地域の子供たちや高齢者を犯罪から守ろうと「地域みまもり隊」を結成。同日に実施した第3回クレーン作戦終了後、精松秀久川内警察署長らを迎えて吉満祐市会計(株)吉満組)の司会で発式を開いた。同会員には建設関連企



結成された地域みまもり隊。薩摩川内市のスーパー駐車場で

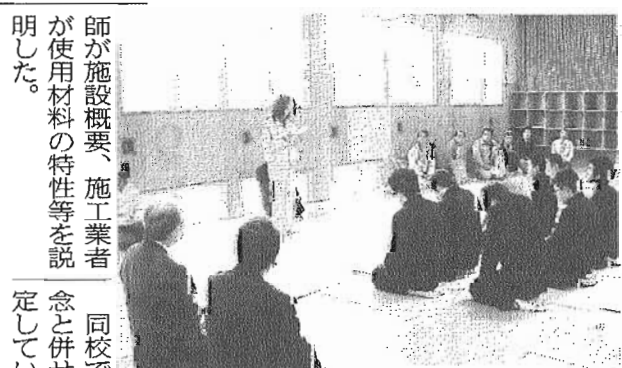


結成された地域みまもり隊。薩摩川内市のスーパー駐車場で

鹿屋高施設完成で説明見学会

県産木材等ふんだんに

平屋1部2階建延べ674・1㎡。設計は(株)島中設計工業、造成及び外構は鹿屋土木



柔剣道場の使用材料特性を説明した見学会。鹿屋市の鹿屋高校で

吹上安全運転管理協等

安全運転マナー訴え

春の交通安全運動(4月6日〜12日)が県下で一斉に始まった6日、吹上安全運転管理協議会(内田次男会長)など

ドライバーに説明する会員。このあと、会員らは次々に通る車を停車してドライバーに眠気覚ましやガムやドリンク、安全運転マナーのチラシなどを配布した。

東家(ひきや)工事・解体工事 土木一式工事・建築一式工事



株式会社 大城

県知事許可(特-12)第4087号 本 社 鹿児島市宇宿町1955-1 下荒田事務所 鹿児島市下荒田1-18-2 (099)275-3600(代) (099)254-3938番

桜島架橋推進協が基礎調査

来月2日、総決起大会も

桜島架橋推進協議会(田中俊賢会長)は、薩摩、大隅の両半島を連結する桜島架橋の整備実現に向けた取り組みの一環として、民間の募金により桜島架橋基礎調査事業(担当=財海洋架橋・橋梁調査会)を進めてきた。同調査では、自然・社会・生活環境分析や交通網・交通量の分析のほか、ルートの選定など実施し、このほど調査内容の報告書を作成した。今回、本紙では、同調査結果の概要の一部を紹介する。

3ルートを9項目で検討

最適案の海底調査等へ

桜島架橋による整備効果の検討から

【利用者便益から算出される直接効果の検討】

桜島架橋による整備効果

を推計した交通需要を用い算出。利用者便益を評価する場合は、①走行費用減少便益②走行時間短縮便益③交通事故減少便益の3項目について評価を行うが、今回は①、②を対象に評価した。

利用者便益とは、道路の利用に伴い道路利用者が

負担する金銭的、時間的、その他の費用が道路の整備によって軽減される効果であり、道路の整備の有無による全道路利用者の総費用の減少として推計される。

桜島架橋へ転換される交通は、すべて鹿児島市山下町・垂水市までの発着交通と仮定して検討。

また、本検討においては「費用便益分析マニュアル」(国土交通省平成15年8月)の考え方を及び計測手法を基本とする。

※検討結果

架橋による利用者便益は、年間約100億2700万円。

利用者便益の34%が桜島フェリー乗降客からの転換分であり最も大きい。

利用者便益の約99%が走行時間短縮便益である。

数字に表れない定性的な効果の検討

鹿児島市をはじめとする薩摩圏域と大隅圏域との地理的接近性は、産業

が負担する金銭的、時間的、その他の費用が道路の整備によって軽減される効果であり、道路の整備の有無による全道路利用者の総費用の減少として推計される。

桜島架橋へ転換される交通は、すべて鹿児島市山下町・垂水市までの発着交通と仮定して検討。

また、本検討においては「費用便益分析マニュアル」(国土交通省平成15年8月)の考え方を及び計測手法を基本とする。

※検討結果

架橋による利用者便益は、年間約100億2700万円。

利用者便益の34%が桜島フェリー乗降客からの転換分であり最も大きい。

利用者便益の約99%が走行時間短縮便益である。

数字に表れない定性的な効果の検討

鹿児島市をはじめとする薩摩圏域と大隅圏域との地理的接近性は、産業

が負担する金銭的、時間的、その他の費用が道路の整備によって軽減される効果であり、道路の整備の有無による全道路利用者の総費用の減少として推計される。

桜島架橋へ転換される交通は、すべて鹿児島市山下町・垂水市までの発着交通と仮定して検討。

また、本検討においては「費用便益分析マニュアル」(国土交通省平成15年8月)の考え方を及び計測手法を基本とする。

※検討結果

架橋による利用者便益は、年間約100億2700万円。

利用者便益の34%が桜島フェリー乗降客からの転換分であり最も大きい。

利用者便益の約99%が走行時間短縮便益である。

数字に表れない定性的な効果の検討

鹿児島市をはじめとする薩摩圏域と大隅圏域との地理的接近性は、産業

が負担する金銭的、時間的、その他の費用が道路の整備によって軽減される効果であり、道路の整備の有無による全道路利用者の総費用の減少として推計される。

桜島架橋へ転換される交通は、すべて鹿児島市山下町・垂水市までの発着交通と仮定して検討。

また、本検討においては「費用便益分析マニュアル」(国土交通省平成15年8月)の考え方を及び計測手法を基本とする。

※検討結果

調和のとれた開放感

寺園邸



- ▽施工名Ⅱ寺園邸新築
- ▽施工地Ⅱ始良町西餅田
- ▽設計Ⅱ(有)アトリエ環
- ▽施工Ⅱ重松建設(株)
- ▽建物規模ⅡS造3階建

閑静な住宅街の一角にモノトーンを基調にした3階建て(ホームエレベータ完備)の住居が完成した。最上階は、屋根に一部サンルーフを採用するなど、自然の光をふんだんに取り込んだ明るいパブリックゾーンとしての機能を併せ持つ。また、加治木町市街地や桜島を眺望しながらの食事を楽しむ憩いのリビングが

モノトーンを基調に

特徴。2階は木目の美しい床で統一され、浴室やトイレ、洗面所などにも白と黒を巧みに施した精密かつ斬新なデザインが目立つ。また、各階の窓を大きくしたことでも採光にも配慮。調和のとれた開放的な造りとなっている。1階は全面ガラス張り、フラワールーム・ジメメント教室を兼ねたギャラリーとなっている。

■表1 架橋ルートの総合評価

架橋条件	Aルート(旧・桜島町武吉野町三船)		Bルート(旧・桜島町袴腰一祇園之洲町)		Cルート(旧・桜島町岩グラウンドー錦江町)	
	現地の状況	評価	現地の状況	評価	現地の状況	評価
架橋距離	約2,400m	○	約2,600m	△	約2,400m	○
海底水深	100~140m	△	40~45m	○	35~40m	◎
海底地質	-	-	-	-	-	-
国立公園	鹿児島側に第二種特別地域、与える影響少ない	○	桜島側に普通地域あるが、与える影響少ない	◎	桜島側に第一、第二種特別地域、与える影響大	△
道路・利便性	鹿児島側・桜島側共に、中心部から離れて不便	△	鹿児島側・桜島側共に、中心部から近く便利	◎	鹿児島側・桜島側共に、中心部から近く便利	○
港湾施設・港湾区域、航路との関係	港湾施設・港湾区域、航路共に影響無い	◎	港湾区域の端部に侵入。航路には影響無い	○	港湾施設・区域を横切る。航路に影響あり	△
火山噴火時の影響と避難経路の適性	危険区域予測の直近にあり、避難道(橋)として適切でない	△	危険区域予測から最も離れており、乗客からも近く利便性良い	◎	危険区域予測から最も離れており、乗客からも近く利便性良い	◎
技術的難易度	水深が深く、困難が予想される	△	既往の実績有り困難ではない	○	既往の実績有り困難ではない	○
架橋工事費	水深が深く工事費も極めて大きいと予想される	△	工事費はCルートと同じ程度と予想される	○	港湾施設・航路条件等の障害多く工事費かさむ	○
架橋ルートとしての総合評価	水深が極めて深く技術的問題多く工事費も大	△	他ルートに比べ最も障害が少ない地点である	◎	国立公園と港湾区域への影響が大きい	○

◎：3ルートでは、最も優れていると判断される箇所
○：3ルートでは、中位にあると判断される箇所
△：3ルートでは、最も劣り、極力避けるべき条件がある箇所

立地条件の向上だけでなく、急患搬送など肝属・曾於(曾於北・曾於南)2次医療圏内で十分な加療が加えられない場合の3次医療圏内である鹿児島市内への搬送にも大きく寄与する。また、「いつでも」乗り換えなしに「車で鹿児島市内内に行ける」という随時性が生まれ、薩摩圏域と大隅圏域間の親密度が飛躍的に向上することが期待される。

このほか、錦江湾を陸路により横断することで、強固な環状ルートの構築

【架橋ルートの検討】
架橋ルートの選定に当

たつては、架橋地域周辺の自然条件、社会条件、環境条件及び技術的・経済的条件並びに利用者の利便性と安全性を検討する必要があります。

今回の調査で技術的に問題なく、高い経済効果が得られるとの結果が出たことから、国や県、鹿児島市など各自治体及び幅広い県民に対して、理解と協力を求める働きかけを推進していきたいとしている。また、最適とされたBルート案の海底・地質調査などの各種調査・検討のほか、事業費の算出なども今後は進めていく必要があるとしている。

また、4月2日は鹿児島市の鹿児島市文化会館で「桜島架橋推進総決起大会」を開き、同調査の詳細について報告を行うこととから、一般市民を含め架橋に興味のある人の参加を広く呼び掛けている。

参加は無料。
問い合わせは、同協議会(鹿児島商工会議所内)0994・42・31(35)担当・福田まで。

がなされ、物流面においてもさらに安定した供給が可能となり錦江湾部の環状的な発展が促進されることが考えられる。

【産業振興への寄与として】
①製造業・商業分野の寄与②農業分野の振興③観光分野の振興など。

【安全性の確保として】
①救急医療体制の改善②消防防災体制の改善など。

【生活の利便性の向上として】
①通勤・通学の利便性の向上②通院の便の向上③買い物・娯楽等行動圏の拡大④行政効率の向上など。

【架橋ルートの検討】
架橋ルートの選定に当

たつては、架橋地域周辺の自然条件、社会条件、環境条件及び技術的・経済的条件並びに利用者の利便性と安全性を検討する必要があります。

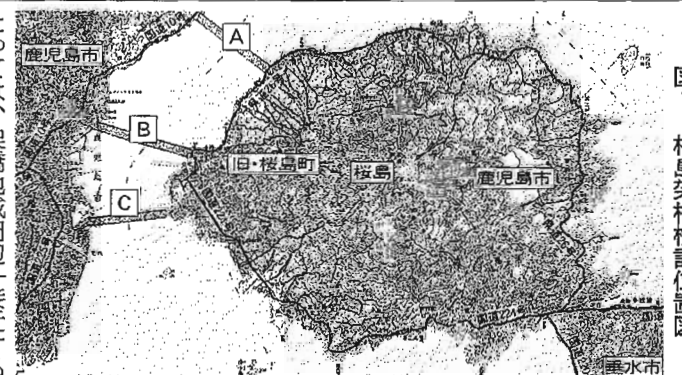


図1 桜島架橋検討位置図

では、既往文献資料を用いて次の諸条件に着目し、①架橋距離②海底地形・水深③海底地質④国立公園⑤道路⑥港湾⑦航路⑧桜島火山噴火⑨架橋ルートの総合評価の9項目で検討を実施した。

この評価は、すべての架橋条件をそろえて比較したものではなく、また条件の重みや重要度が評価されていない。従って◎○△の数で判断すべきものではないが、現時点においては総合的に見てBルートが最適と判断される。

最後に
今回の調査で技術的に問題なく、高い経済効果が得られるとの結果が出たことから、国や県、鹿児島市など各自治体及び幅広い県民に対して、理解と協力を求める働きかけを推進していきたいとしている。また、最適とされたBルート案の海底・地質調査などの各種調査・検討のほか、事業費の算出なども今後は進めていく必要があるとしている。